

活 力 あ ふ れ 感 性 息 づ く 芸 術 文 化 の ま ち 尾 道

こ う ほ う

# おのみち

No.1014  
3月号

Onomichi City 平成28年(2016)



こ う れ い  
特集 **幸齢社会おのみち**の実現に向けて  
～住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らすために～



## もくじ

- 3 **特集 幸齢社会おのみちの実現に向けて**  
～住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らすために～
- 6 **生涯学習情報**
- 9 **尾道・因島勤労青少年ホーム新年  
度会員募集**
- 10 **くらしの窓**  
軽自動車税／マイナンバーカードを  
申請した人へ／選挙権の年齢が満18  
歳以上になりました／飼犬の登録  
と狂犬病予防注射 ほか
- 16 **健康・福祉**  
「減るSio運動」シンボルマーク決定／  
健康相談／当番医／尾道市国保・後期  
高齢者医療の人間ドック助成 ほか
- 19 **子育て**  
乳幼児健診・相談・講習会／母子健康  
手帳交付窓口の変更 ほか
- 21 **スポーツ**  
スポーツ活動助成金制度 ほか
- 22 **芸術・文化**  
第60回尾道市美術展作品募集／尾道  
市立大学講座＜尾道文学談話会＞／  
囲碁教室受講生募集 ほか
- 24 **情報アラカルト**  
尾道地域企業合同説明会／せとだ桜  
まつり／男性料理教室／第73回尾道  
みなと祭／医師確保奨学金奨学生募  
集／臨時的任用職員等募集 ほか
- 30 **相談**
- 32 **尾道市立美術館招待券  
圓鍔勝三彫刻美術館招待券  
地震・津波に備えましょう**

## 今月の表紙



住民参加の介護予防  
「シルバーリハビリ体操」  
教室の1コマです。

元気な体を維持し、住み  
慣れた地域でいきいきと暮

らし、幸齢社会おのみちを目指しましょう。  
※関連記事が3～5頁にあります。



## 電話でのお金の話は全て詐欺! 市内で特殊詐欺が多発しています ～自分は大丈夫と思っていないか～

昨年中の県内の特殊詐欺の被害は、被害件数372件、被害額約14億円と一昨年に続き最悪の結果となりました。その内、尾道署管内の被害件数は13件、被害額約7,047万円、因島署管内の被害件数は3件、被害額約2,218万円となっています。

### (今年1月に市内で発生したケース)

市役所職員をかたり、「医療費の過払いがあります。」「今日が期限です。」「スーパーのATMに行ってください。」と無人のATMに誘い出し、操作させて逆に現金を振り込ませる「還付金詐欺」が3件(被害額約240万円)連続発生しました。

**「ATMでお金が戻ります。」という話は詐欺!**

他にも県内で「息子になりすました犯人から1,600万円を騙し取られたケースや介護施設の株を買うことができると騙され2,000万円の被害に遭ったケースなどが発生しています。

### ◎詐欺被害に遭わないためのポイント

- ・家族で詐欺の被害防止について話し合いましょう。
- ・一人で判断せず、家族や警察に相談しまししょう。
- ・被害に遭う人の大半は高齢者です。離れて暮らしている両親や、祖父母に詐欺の手口を教えてあげましよう。

### ◎尾道警察署(☎0848-22-0110)

因島警察署(☎0845-22-0110)

福山西警察署(☎084-933-0110)

## トピックス—Topics—

### 市長表敬訪問／敬称略



### 第34回全国高等学校 男子ソフトボール選抜 大会出場

(3月20日～23日＝静岡県)  
御調高等学校ソフトボ  
ール部



### JOCジュニアオリン ピックカップ第12回 都道府県対抗全日本中 学生女子ソフトボール 大会出場

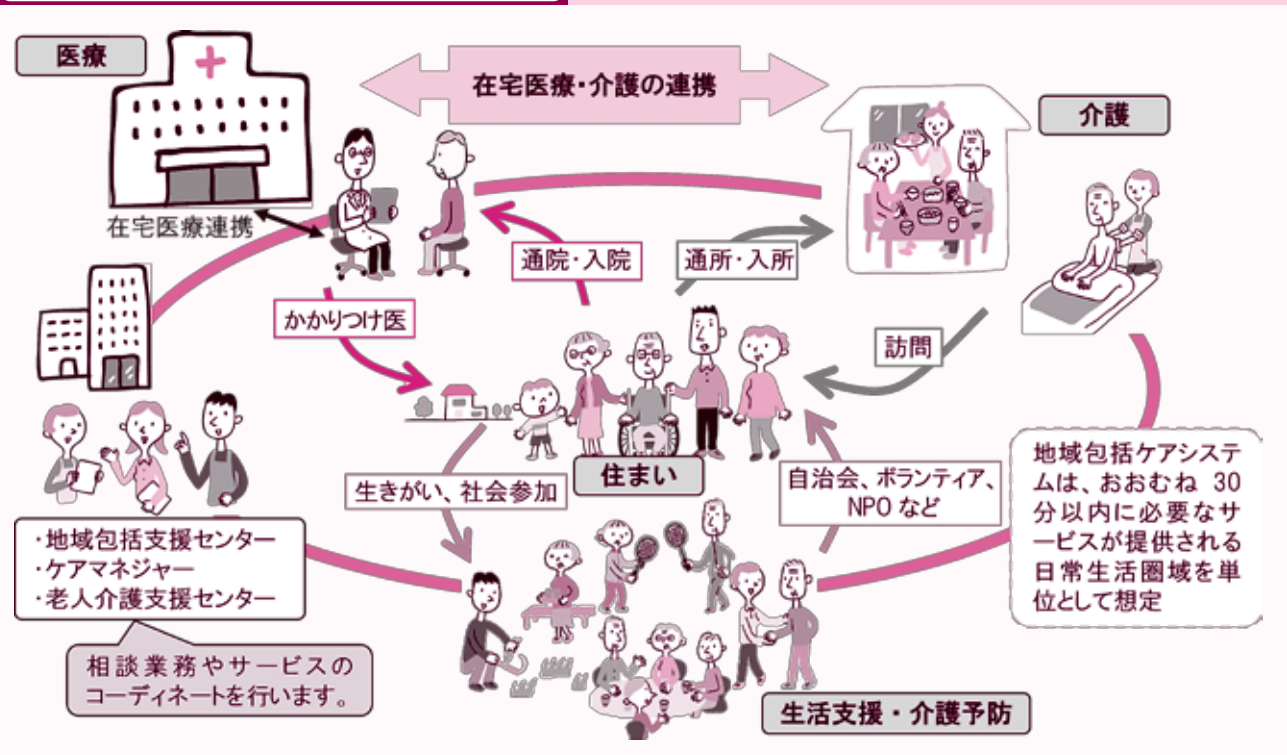
(3月26日～28日＝広島県  
尾道市御調町)

坂本若菜(栗原中学校)  
巻幡璃奈(栗原中学校)  
貝原望菜(栗原中学校)

こ う れ い  
**特集 幸齢社会おのみち**の実現に向けて

～住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らすために～

**地域包括ケアシステムの概念図**



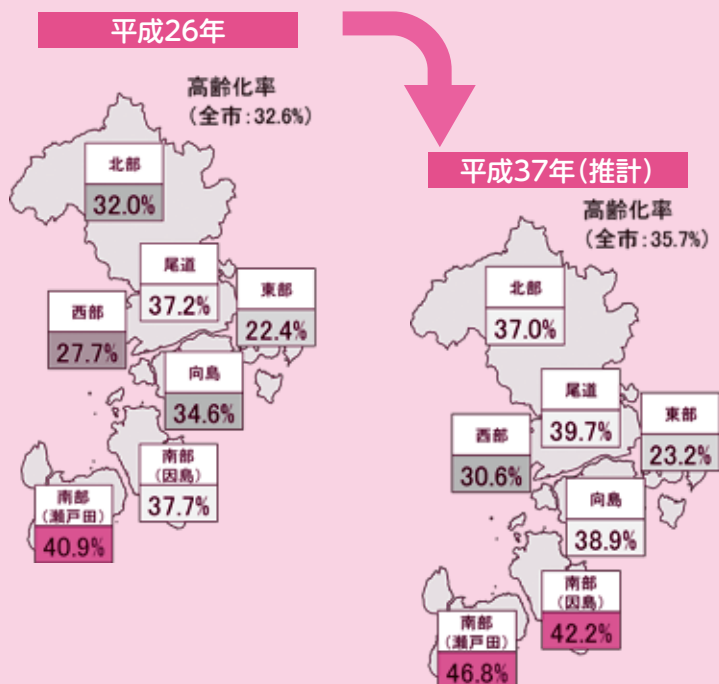
現在、尾道市は3人に1人が65歳以上で、一般世帯の約3割は高齢者のみの世帯です。団塊の世代の高齢化が進む平成37年には、2.7人に1人が高齢者となり、多くの地域で高齢化率が40%に近づき、一般世帯の約半数が65歳以上の高齢者がいる世帯となる見込みです。

「幸齢社会」とは、年を重ねることに幸せを感じられる社会を意味する造語です。次世代の幸せのためにも、地域ぐるみで健康づくり・介護予防・重度化予防に取り組み、高齢者が元気でいきいきと暮らす尾道を目指しましょう。また、介護が必要になっても、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域の見守りネットワークや、医療と介護の連携など、尾道の強みを活かした地域包括ケアシステムの構築を進めていくことが大切です。

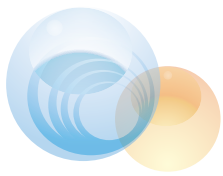
尾道市は、地域の皆さんとともに、「幸齢社会おのみち」の実現に向けて、全市一体となって取り組みます。

☎高齢者福祉課 (☎0848-38-9137)

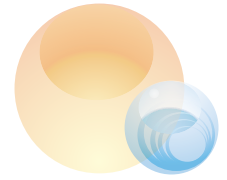
**尾道市の高齢化率の推移**



※住民基本台帳平成21年・26年(各4月1日)よりコーホート法を用いて推計。

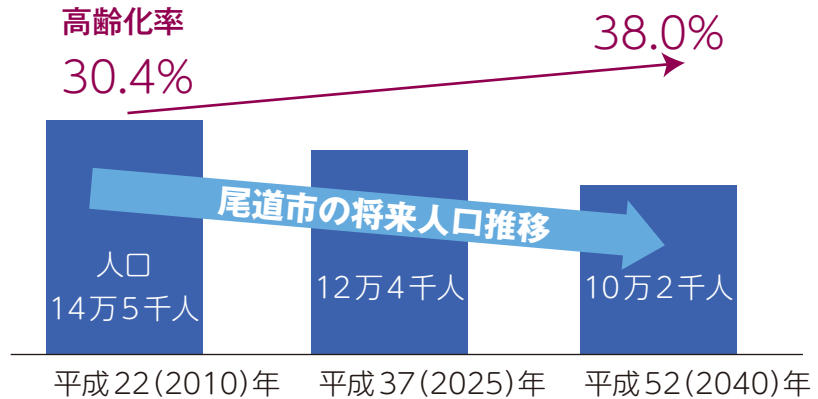


# 私たちの未来のために、 「今」を見つめ直してみませんか



## これからの尾道、 どうなるの (データ※1)

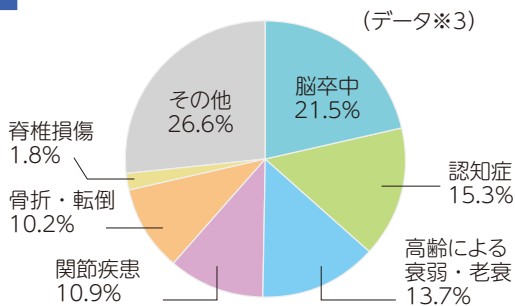
2040年には、  
2010年と比較して、  
人口は、約3割減少  
する見込み。  
一方、高齢者の割合  
は、増加する見込み。



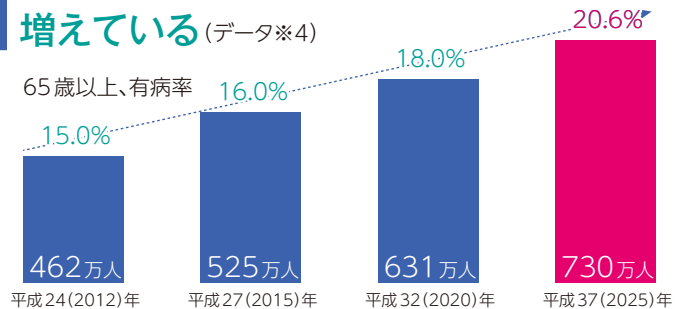
## 誰が支えていくの (データ※2)



## 要介護状態になる原因は



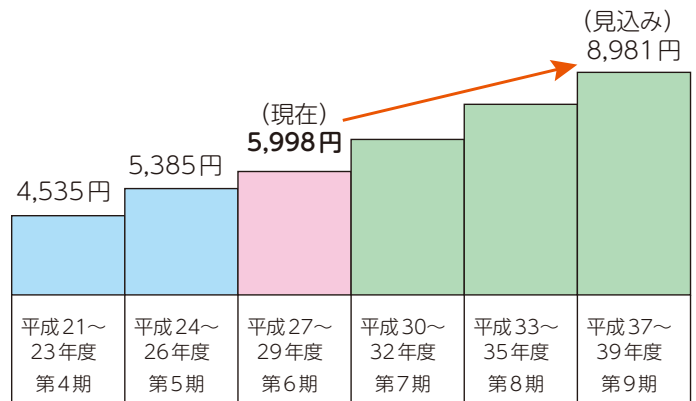
## 認知症を発症している人が 増えている (データ※4)



## 尾道市の介護保険料 将来、このままだとどうなるの

**基準月額: 5,998円** 平成27~29年度 第6期

介護保険料は、それぞれの市町毎に、介護給付の見込み額(どれだけ介護サービスを使うか)によって、算出されます。  
現在、尾道市は、広島県23市町のうち、介護保険料が高い(介護サービス利用が比較的に多い)方から、7番目です。



(出典)

※1 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」。

※2 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」「(出生中位・死亡中位)」、厚生労働省「人口動態統計」。

※3 厚生労働省「平成22年 国民生活基礎調査」。

※4 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」による速報値から推計。

# 「今」からできることは何でしょうか

尾道市では、誰もが安心して暮らすため、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。実現のためには、公的なサービスだけでなく、一人ひとりの努力や地域の協力が欠かせません。「自助」「互助」「共助」「公助」という4つの役割を分担して、一人ひとりできることについて、皆さんで考えてみませんか。

## 自分ができること

- バランスの良い食事や運動
- かかりつけ医をもつ
- 定期健診を受ける
- 年金や就労などで生活費を確保する
- 万一のことを家族と話し合う
- 家や社会で役割を持つ
- 困ったときに誰かに相談するなど



**自助**

## 地域・住民同士ができること

- あいさつと声かけ
- 近所での見守りと助け合い
- 交流できる居場所づくり
- ボランティアや地域の活動への参加
- お互いを大切にした信頼関係づくりなど



**互助**

## 制度における 支え合い

- 医療保険
- 介護保険
- 年金 など

**共助**

**公助**

## 生活保障の制度

- 高齢者福祉事業
- 人権擁護・虐待対応
- 生活保護 など



地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らせるように支援を行うため、尾道市が設置した公的機関で、市内7カ所に設置しています。

相談窓口

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 尾道市地域包括支援センター        | (☎0848-38-9450) |
| 尾道市北部地域包括支援センター      | (☎0848-76-2495) |
| 尾道市西部地域包括支援センター      | (☎0848-21-1262) |
| 尾道市東部地域包括支援センター      | (☎0848-56-0345) |
| 尾道市向島地域包括支援センター      | (☎0848-41-9240) |
| 尾道市南部地域包括支援センター      | (☎0845-24-1248) |
| 尾道市南部地域包括支援センター瀬戸田支所 | (☎0845-27-3847) |

介護や福祉はもちろん、高齢者のことでどこに相談していいかわからないときはまず相談を。

地域包括支援センターが、あなたと一緒に考えます。相談内容は守られます。

介護を一人で抱え込まないで。しんどいときは思いを聞かせてください。



窓口や電話、必要に応じてご自宅で、相談を受け付けます。社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなどがチームとなり、本人に必要なサービスの紹介や、必要に応じた支援の輪を作るお手伝いをします。高齢者(本人)からだけでなく、その家族・近隣に住む人などからの相談も受け付けています。